

## 第1回東地区中心市街地複合施設あり方懇話会議事録（概要）

1. 日時 令和4年7月5日（火）13時～14時45分
2. 場所 舞鶴市政記念館ホール
3. 委員 10名（全員出席）
  - 宗本 順三 学識経験者（京都大学名誉教授）
  - 尾上 亮介 学識経験者（舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科教授）
  - 谷口 知弘 学識経験者（福知山公立大学地域経営学部教授）
  - 伊庭 八郎 八島商店街商業協同組合
  - 名取 貴春 三条商店街振興組合
  - 田村 亜里寿 まちなかエリア新規出店者
  - 村山 暢茂 舞鶴東自治連合会
  - 百田 重男 舞鶴西自治連合会
  - 上野 和美 まいづるネットワークの会
  - 材木 博 京都北都信用金庫東舞鶴中央支店

### 4. 懇話会次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 議事
  - ① 会長及び副会長の選出
  - ② 事務局からの説明
  - ③ 意見交換
  - ④ 今後の日程について
- (4) 閉会

### 5. 懇話会要旨

#### (1) 東地区中心市街地複合施設あり方懇話会の開催目的

現在の東地区中心市街地複合施設は、駐車場とコミュニティスペースを併設する複合施設として、広く市民に利用されているが、建設から29年が経過し、老朽化が進み、令和6年4月には耐用年数を迎える中で、今後の施設のあり方を検討するべき時期に来ていることから、この施設が果たすべき役割や機能について、幅広く意見を伺うため開催するもの。

#### (2) 議事内容

- ① 会長及び副会長の選出

会長に宗本委員、副会長に尾上委員を選任。

② 事務局からの説明

- ・建設の経緯
- ・施設の現状と課題
- ・立地地域（東市街地）の現状と課題

③ 意見交換（※意見内容は下記のとおり）

**【東地区中心市街地複合施設利用に関する意見】**

- ◆よくコミュニティスペースを利用しているが、早急に修繕をお願いしたいと思っていたところであり、根本的に直してほしいと期待している。
- ◆駐車場利用者にとっては、使いにくいという声が多い。（暗い、狭い、対面通行で怖いなど。）
- ◆メンテナンスしにくい意匠、デザインの施設である。

**【今後の施設に望む姿】**

- ◆市民が集える憩いの場所。
- ◆屋上は眺望もよいため、うまく利用し、若い人が集まる場所。
- ◆若者が集まり一緒に勉強をしたり、話をしたり、また若い自衛官などが休憩できるような、幅広い使い方ができる空間が出来ないか。
- ◆事業用借地（20年）とし、商業施設を誘致すればどうか。
- ◆駐車場機能は必要。
- ◆便利な駐車場であるので、マイコムを改修していただき、今後も駐車場機能を果たしていただきたい。
- ◆月極利用が多いのであれば、マイコムの駐車場機能がなくなれば、空き家空き地が活用され、ある意味まちの活性化に繋がるとも思う。
- ◆市の部局が事務所として活用すれば、周辺の人通りも増え、まちが活性化するのではないか。
- ◆立地場所は抜群であることから、場所を活かす必要があり、専用駐車場や平面駐車場にするのは最悪の選択肢だと考える。

**【今後のあり方についての考え方（前提）】**

- ◆今後のあり方については、施設だけでなく、周辺地域を含む「まち全体」で考えた方がよい。
- ◆次の世代に負の財産を残さないという視点を入れて考えていきたい。
- ◆現在の視点だけでなく、今後の人口動態や年齢構成などのデータを踏まえた市場規模で考えてほしい。

- ◆東・西、それぞれの場所の細かい地域性を考えなければならない。
- ◆東舞鶴地区にとってのこの場所の意味や価値を大事にした今後の活用について知恵を絞ればいいのではないか。
- ◆何らかの高度活用が必要だが、床面積を増やすことではなく、場所の魅力をあげていくという高度活用をした方が良い。
- ◆この施設の高さを生かした民間活用はあるかもしれない。
- ◆老朽化が進んでいる中、このまま生かして使用するにはコストがかかる。
- ◆行政が税金を投入してリノベーションしたり、このまま維持保全を続けたりするの是非常に難しい。
- ◆この施設にどういう価値があるのかを見出すのか大事だが、今の施設のどこに、このまま残す価値があるのか分からない。
- ◆若い人をキーワードとして考えてはどうか。

④今後のスケジュールについて

第2回懇話会（8月下旬頃の開催を予定）

- ・第1回懇話会の総括
- ・市民意識調査結果について協議